

GREEN RANGER NEWS

2019年9月号

Vol.310



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局
〒989-0231
宮城県白石市福岡蔵本字滝下102
URL <http://www.zao.org/>
e-mail mail@zao.org

■8月の活動報告

【木工作業体験、草木染等】8月11日(日)

今日は先日「コレを作る！」と一つに絞った作品に挑戦。丸鋸のきめ細かな切断面にうっとりする。角をサンダーで落とし、五角形は何度かなどと言いながら紙に印を付け、切断したヤマハンノキに写して行く。その点を深さを設定したドリルで穴を開ける。少し穴のサイズが小さいので丸棒を紙やすりで削るが、なかなか入らない。上と下の穴の位置がずれているのか、棒の長さが一定でないのか、色々な問題を克服、なんとか完成。だが、まだ名前はない。

一方、カメラ班は観察状況を確認。イノシシが写っている、笹藪から次から次へと出て来る。思わず「ウリボウが撮れている」と叫ぶ、すかさず「エ～」と言う声がある。それもそのはず、植林地面を縦横無尽に掘りつくされるやら、ユリ根を食べられ、ヤマユリがほとんど無くなっているなどの難問も抱えているのである。参加者:10名

そうそう、ミズナラの木にカブトムシとクワガタと一緒にいた。次回もそこでまた会えるといいな……………。



【森の教室(親子行事)】8月25日(日)

昨年同様、柴田町の船迫生涯学習センター主催の親子行事を行いました。夏休み最後の日とあって参加したのは1家族・5人だけでした。小学4年と2年の兄妹はとても元気がよく山の夏を楽しんでくれたようです。丸太小屋に入るなり、すぐロフトに登り、途中でアオダイショウにごあいさつ。恥ずかしがり屋のアオダイショウは、隠れてなかなか姿を見せてくれない。時々ちょこんと顔を出して、人間たちの動きを窺っていたもよう。最初にリスの森へ。ツリーハウスのドアの前に、何とフンがいっぱい。クマ?かなあ。木登りに挑戦し、丸太の平均台で遊び、そしてターザンロープへ。やはり、子どもは大好きで、何度も繰り返していた。遊びの後は自然観察会。クマの爪痕を見たり、葉っぱの臭いをかいだり、アブが足に止まり大声で泣き出したり。アナグマの森では、アナグマの穴の傍まで行きました。昼食の後は、動物の生態観察のために設置したカメラで撮影した動画を観る。アナグマの穴付近には、アナグマ、タヌキ、キツネ、イノシシが通りすぎていく。彩遊の森にはアナグマ、キツネ、ウサギが、後から設置したクマの寝床付近では子グマが写っていた。午後は、木の枝や木の実を使っての工作。かわいいクマさんやウサギさんに挑戦。パパやママも作りました。次は、薪割りに挑戦。男の子は何故か、はまってしまう。パパも初めての挑戦。いつまでも続けていたい様子だったが、疲れたようなので終了。二人とも翌日体が痛くなったのでは?



その後は、仲村さん力作の「積み木の神経衰弱」(三角や四角の積み木と小さな丸太の薄切りに樹名を書いたもの。同じ樹名が2枚あるので、それを当てる遊び)。家族5人とレンジャー2人・計7人が挑戦。45組90枚もあるので、終わるのかなあ?と思いましたが、みんなすごい集中力で45分位かかって無事終了。朝10時前から始まった親子行事は、午後3時過ぎに子どもたちの笑顔で終了。「また、遊びにおいでよ。」と、見送りました。

■9月の活動案内

[定例会](仮称)小鳥の森調査

開催日9月8日(日)

集合時間 午前10時

[森の教室]

開催日9月22日(日)午前10時

集合時間 午前10時